



製品安全データシート (MSDS)

Dow Chemical Japan Ltd

製品名: ベタシール(TM) 1580
BETASEAL(TM) 1580

発行日: 2011/09/26

印刷日: 17 Feb 2012

Dow Chemical Japan Ltd

弊社は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。使用条件によって他の対応を必要とする場合以外は、記載注意事項を遵守されるようお願い致します。

1. 化学物質等及び会社情報

製品名

ベタシール™ 1580
BETASEAL™ 1580

推奨用途

接着剤 -- 自動車用途への使用。

会社情報

Dow Chemical Japan Ltd
A Subsidiary of The Dow Chemical Company
Tennoz Central Tower
2-24, Higashi Shinagawa 2-chome
Shinagawa-ku, TO 140-8617
Japan

会社電話番号:

03-5460-2100
SDSQuestion@dow.com

緊急電話番号

24時間対応 緊急連絡先:
国内緊急連絡先:

0120 00 1017
0120 00 1017

2. 危険有害性の要約

物質/混合物の分類

危険有害性クラス:

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
皮膚腐食性/刺激性	区分2
皮膚感作性	区分1
呼吸器感作性	区分1
発がん性	区分2

(R) (TM)*: 商標

ラベル要素
危険有害性シンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

強い眼刺激。

皮膚刺激。

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

発がんのおそれの疑い。

注意書き：

安全対策： 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急措置：

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

保管： 施錠して保管すること。

廃棄： 内容物/容器は、承認された焼却設備で処分する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	CAS No.	官報公示整理番号(化審法)	含有量
MDIベースウレタンポリマー	P83-1015 特定不可	登録確認済み	30.0 - < 40.0 %
焼成粘土	92704-41-1	適用外	20.0 - < 30.0 %
フタル酸ジイソニル	28553-12-0	(3)-1307	15.0 - < 25.0 %
カーボンブラック	1333-86-4	(5)-3328	15.0 - < 25.0 %
ヘキサメチレン-1, 6-	28182-81-2	(7)-873	0.0 - < 5.0 %
ジイソシアネートホモポリマー			
4, 4' -メチレンジフェニルジイソシアネート	101-68-8	(4)-118 優先	0.0 - < 1.0 %

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的注意事項：

応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。暴露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。

吸入：

新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。呼吸困難の時は、有資格者が酸素吸入を行う。医師を呼ぶか、医療機関に搬送する。

皮膚接触：

石鹼と大量の水で洗って、物質を直ちに皮膚から取り除く。洗っている間に汚染された衣類や靴は脱がせる。刺激がおさまらない時は医師の診察を受ける。衣類は再使用前に洗濯する。

MDI皮膚汚染除去研究では、暴露後直ちに洗浄することが重要であり、また石鹼と水で洗浄するよりもポリグリコールの皮膚洗剤やコーン油の方が効果的であることを示している。

汚染を取り除くことができない靴やベルト、時計バンド等の革製品は廃棄する。

眼との接触：

数分間眼を徹底的に水で洗い流す。1~2分洗眼してからコンタクトレンズをはずし、さらに数分洗い続ける。症状があれば、医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。

作業場内に適切な緊急用洗眼設備を設置すること。

経口：誤飲した時は、医師の診察を受ける。医師の指示がない限り、嘔吐させない。

急性及び遅発性の最も重要な症状と影響

上記の応急措置の記述、下記の応急措置及び必要とされる特別な処置の指示に記載されている情報を除いて、追加の症状や影響は予想されない。

応急措置及び必要とされる特別な処置の指示

呼吸器感受性、または喘息様症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬が有用であると思われる。

β 2作用薬の吸入と、経口もしくは非経口のコルチコステロイド剤で気管支痙攣を治療する。

肺水腫などの呼吸器症状が遅発することがある。重大な暴露を受けた人は呼吸困難の徴候がみられないかどうか24~48時間観察する。患者の十分な換気および酸素吸入を維持すること。

ジイソシアネートに感作した人は、その他の呼吸器刺激物質や呼吸器感作物質を用いる作業について医師に相談すること。暴露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

過剰暴露すると、喘息をはじめとする既存の呼吸障害(気腫、気管支炎、反応性気道機能不全症候群)を悪化させることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧または散細水。粉末消火器。二酸化炭素消火器。泡消火剤。

耐アルコール泡消火剤(ATC型)が適している。一般合成泡消火剤(AFFF型を含む)やタンパク泡消火剤も機能するが、効果的ではない。静かな水噴霧は、消火用ブランケットとして使用できる。

避けるべき消火剤：直接棒状放水しない。火災を拡大させることがある。

物質/混合物特有の危険有害性

危険な燃焼生成物：

火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：

窒素酸化物。一酸化炭素。二酸化炭素。

燃焼生成物は微量のこれらを含んでいるかもしれない：シアン化水素。

異常な火災および爆発の危険：

製品は水と反応する。反応は熱および、またはガスを発生させることがある。

火災の際、ガスの発生により容器が破裂することがある。

熱い液体に直接放水すると、激しい蒸気の発生や噴出が起こることもある。

製品が燃焼すると濃い煙が発生する。

消防士のための注意事項

消火手順：人々を避難させる。火を隔離して関係者以外の立ち入りを禁止する。
火が消えて再発火の危険がなくなるまで、水スプレーを用いて火に曝された容器および火災の影響を受けた領域を冷却する。
保護された場所から、あるいは十分に安全な距離から消火に当たる。無人ホースホルダーまたはモニターノズルの使用を考慮する。
安全弁装置から聞こえる音が大きくなったり、容器の色が変わったりした時は、直ちに全ての人をその場所から退避させる。直接棒状放水しない。火災を広げるかもしれない。
危険を伴わずにできるのであれば、容器を火災場所から移動させる。
人の保護や建物の損害を最小限にするために、燃焼する液体を水で流して移動させることもできる。
静かな水噴霧は、消火用ブランケットとして使用できる。
可能なら消火水を囲い込む。囲い込まないと環境破壊の可能性がある。
本MSDSの「漏出時の措置」および「環境影響情報」の項を見直す。

消防士用の特別な保護具：

陽圧式自給式呼吸器(SCBA)および防火服(防災ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を含む)を着用する。
消火活動の際、この物質との接触を避ける。接触の可能性がある場合は、耐薬品性の防火服と自給式呼吸器を使用する。もしこれらが無い場合は、自給式呼吸器付き耐薬品性の全身服を使用し、離れた場所から消火活動する。
火災後または火災ではなく清掃時に用いる保護具については、関連の項を参照する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：場所を隔離する。
不必要な人や保護具を装着していない人の、その場所への立ち入りを禁止する。
流出物の風上にいること。漏れたり流出した場所を換気する。第7項、取扱い注意事項を参照。
さらに詳細な情報は、第10項を参照。
適切な保護具を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項：

土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。第12項、環境影響情報を参照。
封じ込め及び浄化の方法・機材：可能なら、流出物を囲い込む。以下の物質で吸収させる：
猫用のトイレ砂。砂。おが屑。正しくラベルの貼ってある適切な容器に回収する。
追加情報として、第13項、廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

一般的な取り扱い：眼、皮膚、衣服との接触を避ける。長時間又は繰り返しの皮膚接触を避ける。
蒸気、ミストの吸入を避ける。取り扱った後は十分に手を洗うこと。容器はふたを閉めておく。
十分に換気して使用する。第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

保管

大気の水分を避ける。乾燥した場所に保管する。湿気を避ける。

貯蔵期間以内に使用する 保管温度：

：

9 Months

5 - 25 °C

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界

成分	リスト	タイプ	値
4,4' - メチレンジフェニルジ イソシアネート	ACGIH	TWA	0.005 ppm
	JP JSOH OEL	TWA	0.05 mg/m3 SEN

製品中のいくつかの成分には許容濃度が設定されているが、物性上、通常の作業条件では暴露することはないであろう。

許容濃度基準値の後に”SEN”と表記されているものは、感作性の可能性があるものである事が、ヒト又は動物実験で確認されている。

人の保護

眼・顔面の保護：安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。

皮膚の保護：

この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

手の保護：この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム 塩素化ポリエチレン ポリエチレン エチルビニルアルコールラミネート(EVAL) 許容できる手袋の素材の例：ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR) ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル) バイトン。

注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

呼吸器の保護：

許容濃度を超えないように管理しなければならない。許容濃度を超える恐れがある場合は、認可された防塵機能付有機ガス用空気清浄呼吸器を使用する。

空気中の濃度が空気清浄呼吸器の有効濃度限界を上回る恐れがある場合は、陽圧空気供給呼吸器(エアライン式または自給式)を使用する。

緊急対応時または空気中の濃度が不明の時は、認可された陽圧自給式呼吸器か、補助空気ボンベ付陽圧エアラインを使用する。以下は効果的な空気清浄呼吸器の種類である：

防塵フィルター付き有機ガス用

経口：

衛生状態を良好に保つ。作業場所での飲食や、食物の保管をしないこと。喫煙や食事の前には手を洗う。

工学的管理

換気：換気を十分に行っている時のみ使用する。

一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

全体換気や局所排気を行い、空気中濃度を暴露ガイドライン未満に抑制する。

排気システムは、蒸気・エアゾール発生源およびその場所で作業する人々から空気が流れさるように気流を設計する。この物質の臭いおよび刺激性は、過剰暴露を警告するには不十分である。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	ペースト
色	黒色
臭い	甘い臭い
臭いの閾値	データなし。
pH	適用不可。

融点	適用不可。
凝固点	データなし。
沸点 (101 kPa)	適用不可。
引火点-密閉式	適用不可。
蒸発速度(フイルマセート=1)	データなし。
燃焼性：(固体、ガス)	非該当
空気中での燃焼限界	下限：データなし。 上限：データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度(空気=1)	データなし。
比重(H2O=1)	1.3 仕入先
水への溶解度(重量ベース)	データなし。
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow)	データなし。
発火温度	データなし。
分解温度：	データなし。
動的粘度	データなし。
動粘度	データなし。
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
分子量	データなし。
揮発性有機化合物	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

化学的安定性

推奨される保管条件下で安定している。第7項、保管を参照。

危険有害反応の可能性

重合は起こらない。

避けるべき条件：この製品の成分のいくつかは、高温で分解するものがある。

分解によるガスの発生が密閉システム内の圧力を上昇させる。湿気を避ける。

物質が水と緩徐に反応して二酸化炭素を放出することにより、密閉容器内の圧力が上昇し破裂が起こる可能性がある。温度が高いとこうした反応を加速させる。

混触危険物質：水と反応して熱が発生する。以下との接触は避ける：酸類 アルコール類。

アミン類。水。アンモニア。塩基類。金属化合物。湿った空気。強酸化剤類。

水と反応して二酸化炭素が発生する。

危険有害な分解生成物

分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。分解によりガスが放出される。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

誤飲した場合、弱い毒性を示す。

通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると傷害を引き起こすことがある。腹部不快感または下痢をおこすことがある。吐き気や嘔吐を起こすことがある。

単回経口投与のLD50のデータなし。

吸引力呼吸器有害性

物性上、吸引力呼吸器有害性は低い。

経皮

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

経皮LD50は決定されていない。

吸入

室温では、揮発性が低いので蒸気暴露は非常に少ない。加熱された物質からの蒸気やミストは、呼吸器官に対する刺激性やその他影響があるだろう。

提示されたデータは以下の物質に関するものである：メチレンジフェニルジイソシアネート(MDI)。

肺機能低下はイソシアネートへの過剰暴露と関連がある。

過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)および肺に刺激作用を来すことがある。

肺浮腫(肺水腫)を起こすことがある。有害影響は遅発性であろう。

ミネラルや無機フィラーを含有している。物性上、通常の手扱いでこれらフィラーを吸入暴露する可能性は基本的でない。

LC50は決められていない。

眼に対する損傷性/眼刺激性

眼を刺激することがある。

皮膚腐食性/刺激性

長期間の接触で、局所発赤を伴う中等度の皮膚刺激作用を起こすことがある。

物質が皮膚に付着すると、除去時に皮膚を刺激することがある。

感作性

経皮

この混合物の成分は、皮膚感作性を示している。

動物実験では、イソシアネートの皮膚接触による呼吸感作性の可能性を示した。

呼吸器官

この混合物の成分は、呼吸器にアレルギー反応を起すかもしれない。

MDIにすでに感作していると、暴露ガイドラインを下回る濃度でアレルギー性呼吸反応を来すことがある。

咳や呼吸困難、胸を締め付けられた感覚を含む喘息のような症状。時には、呼吸困難による生命の危険の恐れがある。

反復投与毒性

動物で下記の臓器に影響があると報告されている成分を含有する：腎臓。肝臓。

MDIおよびポリメリックMDIのエアゾールに反復過剰暴露すると、実験動物において上気道および肺の組織障害が認められた。

慢性毒性と発がん性

生涯にわたってMDIおよびポリメリックMDIの吸入性エアゾール飛沫(6mg/m³)に暴露させた実験動物に肺腫瘍が認められた。腫瘍と同時に、呼吸器刺激および肺損傷も認められた。現行の暴露ガイドラインは、MDIに関して報告されているこのような有害影響を予防するものと考えられる。

フタル酸エステル：

オスラットにおいて、腎臓への影響および・または腫瘍が認められている。このような影響はある特定な種に対するものであり、ヒトでは起こらないと考えられる。

ラットにおいて、肝臓への影響および・または腫瘍が認められている。このような影響はある特定な種に対するものであり、ヒトでは起こらないと考えられる。

発生毒性

動物試験で催奇形性のなかった成分を含有し、他の胎児影響は、母体に有毒な摂取量の場合のみ起こった。

生殖毒性

フタル酸エステル：

試験動物では、親動物に対して毒性を示す過剰量を投与すると、体重減少および子の生存率低下が認められた。どの用量段階でも繁殖性への作用は認められなかった。

遺伝毒性

インビトロ遺伝毒性試験で陰性だった成分を含有。

MDIに関する遺伝毒性データは決定的なものではない。弱い陽性結果を示すインビトロ試験もあれば陰性結果を示すものもあった。動物を用いた変異原性試験の結果は、圧倒的に陰性が多かった。

成分毒性 - フタル酸ジイソノニル

皮膚吸収	LD50, ウサギ > 3,160 mg/kg
------	-------------------------

成分毒性 - カーボンブラック

皮膚吸収	LD50, ウサギ > 3,000 mg/kg
------	-------------------------

成分毒性 - ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

皮膚吸収	製品として。経皮LD50は決定されていない。
------	------------------------

皮膚吸収	主成分について：推定値。LD50, ウサギ > 5,000 mg/kg
------	-------------------------------------

成分毒性 - 4,4' - メチレンジフェニルジイソシアネート

皮膚吸収	LD50, ウサギ > 9,400 mg/kg
------	-------------------------

成分毒性 - カーボンブラック

吸入	LC50, 1 h, エアロゾル, ラット 27 mg/l
----	-------------------------------

成分毒性 - ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

吸入	製品として。LC50は決められていない。
----	----------------------

吸入	主成分について：LC50, 4 h, エアロゾル, ラット 4.63 mg/l
----	---

成分毒性 - 4,4' - メチレンジフェニルジイソシアネート

吸入	LC50, 1 h, エアロゾル, ラット 2.24 mg/l
----	---------------------------------

成分毒性 - フタル酸ジイソノニル

経口	LD50, ラット > 10,000 mg/kg
----	--------------------------

成分毒性 - カーボンブラック

経口	LD50, ラット > 8,000 mg/kg
----	-------------------------

成分毒性 - ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

経口	製品として。単回経口投与のLD50のデータなし。
----	--------------------------

経口	主成分について：推定値。LD50, ラット > 5,000 mg/kg
----	-------------------------------------

成分毒性 - 4,4' - メチレンジフェニルジイソシアネート

経口	LD50, ラット > 2,000 mg/kg
----	-------------------------

12. 環境影響情報

毒性

成分のデータ：MDIベースウレタンポリマー P83-1015

水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

成分のデータ：焼成粘土

水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

成分のデータ：フタル酸ジイソノニル

水生種に対する毒性は、物質の濃度が水に対する溶解度以上の濃度において認められる。

成分のデータ：カーボンブラック

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種でLC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

LC50, golden orfe (Leuciscus idus), 止水式, 96 h: > 1,000 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, オオミジンコ, 24 h, 遊泳阻害: > 5,600 mg/l

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

主成分について:

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種でLC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

NOEC (無影響濃度) 致死, ゼブラフィッシュ (Brachydanio rerio), 止水式, 96 h: > 100 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

NOEC (無影響濃度), オオミジンコ, 止水式, 48 h, 遊泳阻害: > 100 mg/l

水生植物に対する毒性

EC50, 藻 (Senedesmus sp.), 止水式, 生物量生長阻害, 72 h: > 1,000 mg/l

微生物に対する毒性

EC50, OECD 209試験; 活性汚泥, 3 h: > 1,000 mg/l

成分のデータ: 4,4'-メチレンジフェニルジイソシアネート

測定された環境毒性は、一般に可溶性物質の生成が最大となる条件下での加水分解物の毒性である。

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種でLC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

類似物質の情報による: LC50, Danio rerio (ゼブラフィッシュ), 止水式, 96 h: > 1,000 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

類似物質の情報による: EC50, オオミジンコ, 止水式, 24 h: > 1,000 mg/l

水生植物に対する毒性

類似物質の情報による: NOEC (無影響濃度), 緑藻 (Scenedesmus subspicatus, new name: Desmodesmus subspicatus), 止水式, 生長率阻害, 72 h: 1,640 mg/l

微生物に対する毒性

類似物質の情報による: EC50; 活性汚泥, 止水式, 3 h: > 100 mg/l

土壌生物に対する毒性

EC50, ミミズ Eisenia foetida, 14 d: > 1,000 mg/kg

残留性・分解性

成分のデータ: MDIベースウレタンポリマー P83-1015

日光への暴露により表面が光分解すると考えられる。

明らかな生分解性はないと考えられる。

成分のデータ: 焼成粘土

生分解は適用不可。

成分のデータ: フタル酸ジイソノニル

物質は易分解性である。OECD易分解性試験に合格している。

物質は最終的に生分解性である。OECDの本質的生分解性試験では無機化が70%超に達する。

OECD生分解性試験:

生分解	暴露時間	方法	10-d Window
74 %	28 d	OECD 301C試験	適用不可。
> 99 %	28 d	OECD 302A試験	適用不可。

水酸基ラジカルによる間接的な光分解

速度定数	大気中半減期	方法
2.34E-11 cm ³ /s	5.487 h	推定値。

理論酸素要求量: 2.64 mg/mg

成分のデータ: カーボンブラック

生分解は適用不可。

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

同類物質について:

水中および陸上環境では、物質のほとんどは水と反応して、安定しているように見える不溶性ポリウレアになる。

大気環境では、計算と関連ジイソシアネートから類推すると、対流圏での物質の半減期は短いと考えられる。

OECD生分解性試験:

生分解	暴露時間	方法	10-d Window
0 %	28 d	データなし。	不合格

成分のデータ: 4,4' -メチレンジフェニルジイソシアネート

水中および陸上環境では、物質のほとんどは水と反応して、安定しているように見える不溶性ポリウレアになる。

大気環境では、計算と関連ジイソシアネートから類推すると、対流圏での物質の半減期は短いと考えられる。

OECD生分解性試験: 類似物質の情報による:

生分解	暴露時間	方法	10-d Window
0 %	28 d	OECD 302C試験	適用不可。

生体蓄積性

成分のデータ: MDIベースウレタンポリマー P83-1015

生体蓄積性: 分子量が比較的大きい(MW1000超)ため、生物濃縮は起こらないと考えられる。

成分のデータ: 焼成粘土

生体蓄積性: n-オクタノール・水分配係数は適用不可。

成分のデータ: フタル酸ジイソノニル

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF<100, Log Pow>7)

n-オクタノール/水分配係数(log Pow): 9.37 推定値。

成分のデータ: カーボンブラック

生体蓄積性: n-オクタノール・水分配係数は適用不可。

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

生体蓄積性: 同類物質について:

水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

成分のデータ: 4,4' -メチレンジフェニルジイソシアネート

生体蓄積性:

水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

土壌中の移動性

成分のデータ: MDIベースウレタンポリマー P83-1015

土壌中の移動性: 関連のあるデータは得られていない。

成分のデータ: 焼成粘土

土壌中の移動性: データなし。

成分のデータ: フタル酸ジイソノニル

土壌中の移動性: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc>5000)

土壌中有機炭素/水分配係数(Koc): > 5,000 推定値。

ヘンリー定数(H): 1.49E-06 atm-m³/mole; 25 °C 推定値。

成分のデータ: カーボンブラック

土壌中の移動性: 関連のあるデータは得られていない。

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

土壤中の移動性: 関連のあるデータは得られていない。

成分のデータ: 4,4' -メチレンジフェニルジイソシアネート

土壤中の移動性:

水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

PBT(難分解性・生体蓄積性・毒性)及びvPvB(極難分解性・極生体蓄積性)の評価結果

成分のデータ: MDIベースウレタンポリマー P83-1015

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

成分のデータ: 焼成粘土

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

成分のデータ: フタル酸ジイソノニル

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

成分のデータ: カーボンブラック

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

成分のデータ: 4,4' -メチレンジフェニルジイソシアネート

この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。

他の有害影響

成分のデータ: MDIベースウレタンポリマー P83-1015

関連のあるデータは得られていない。

成分のデータ: 焼成粘土

この物質は、オゾン層破壊物質に関するEC規則2037/2000の付属書Iに含まれていない。

成分のデータ: フタル酸ジイソノニル

この物質は、オゾン層破壊物質に関するEC規則2037/2000の付属書Iに含まれていない。

成分のデータ: カーボンブラック

データなし。

成分のデータ: ヘキサメチレン-1,6-ジイソシアネートホモポリマー

この物質は、オゾン層破壊物質に関するEC規則2037/2000の付属書Iに含まれていない。

成分のデータ: 4,4' -メチレンジフェニルジイソシアネート

この物質は、オゾン層破壊物質に関するEC規則2037/2000の付属書Iに含まれていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条令に定められた方法に従って、焼却等の処理を行う。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

廃容器は内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

米国の道路・鉄道法令情報

該当しない。

国際海上(IMDG)

該当しない。

国際航空 (ICAO/IATA)

該当しない。

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

米国有害物質規制法

全ての成分はTSCAインベントリーに登録されている。又は適用外である。

化審法

この製品は、化審法登録制度を遵守しています。

労働安全衛生法

労働安全衛生法 (ISHL) リスト:

この製品は、有害性調査制度 (化学物質登録制度) を遵守しています。

危険物: 該当しない。

特化則: 該当しない。

有機則: 該当しない。

表示物質: 該当しない。

通知対象物: 政令番号 130 カーボンブラック 15 - 25 %

通知対象物: 政令番号 599 メレンビス(4,1-フェニル) =ジイソシアネート < 1 %

化管法 (PRTR法)

該当しない。

毒物及び劇物取締法

該当しない。

消防法

指定可燃物: 可燃性固体類 (3,000 kg)

船舶安全法

該当しない。:

16. その他の情報

改定

ID# 1020472 / 4038 / 発行日2011/09/26 / Version: 2.0

最新の改定事項は、この文書全体にわたって、左側の余白にボールド体の二重線で強調してある。

説明文

N/A	データなし
W/W	重量/重量
OEL	職業暴露リミット値
STEL	短時間暴露許容濃度
TWA	時間加重平均値

ACGIH	米国産業衛生専門家会議
Dow IHG	ダウ産業衛生ガイドライン
WEEL	許容濃度 (米国AIHA/WEEL委員会)
HAZ_DES	危険性名称

Dow Chemical Japan Ltd

弊社は、お客様や(M)SDSの受領者の皆様が、この(M)SDSの掲載データや、この製品に伴う危険有害性を認識し理解するために、(M)SDSを慎重に検討され、必要に応じて適宜しかるべき専門家にご相談されるようお願いしております。掲載内容は誠意をもって提供したものであり、上述の発効日の時点で正確なものであると考えております。ただし、明示および黙示の保証を行うものではありません。法令の要求事項は、改正されたり、地域により異なることがあります。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。ここに掲載された情報は出荷した製品についてのものです。製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定して下さい。

各製造会社固有の(M)SDSなどの情報源が増加していますが、弊社は弊社以外の製造会社から入手した(M)SDSに関しては一切責任を負いません。他の情報源から入手した(M)SDSをお持ちの場合や、お手元の(M)SDSが最新版であるという確信が持てない場合は、弊社にご連絡ください。